

## 第7回 やめて！！家族同意だけの

### 「脳死」・臓器摘出！市民の会 結成3周年記念集会

# 生きる権利を奪い続ける「脳死」と 「尊厳死法」に反対する

～「どうせ助からないのだから」の共鳴に抗して～

日時：2月22日（土）13時30分から（開場13時15分）

場所：エルおおさか7階709号室（参加費500円）

**演題：「死の自己決定権のゆくえ」**

**演者：児玉真美さん** <「死の自己決定権の行方」著者>

**報告：大塚孝司さん** <人工呼吸器をつけた子の親の会（バクバクの会）会長>

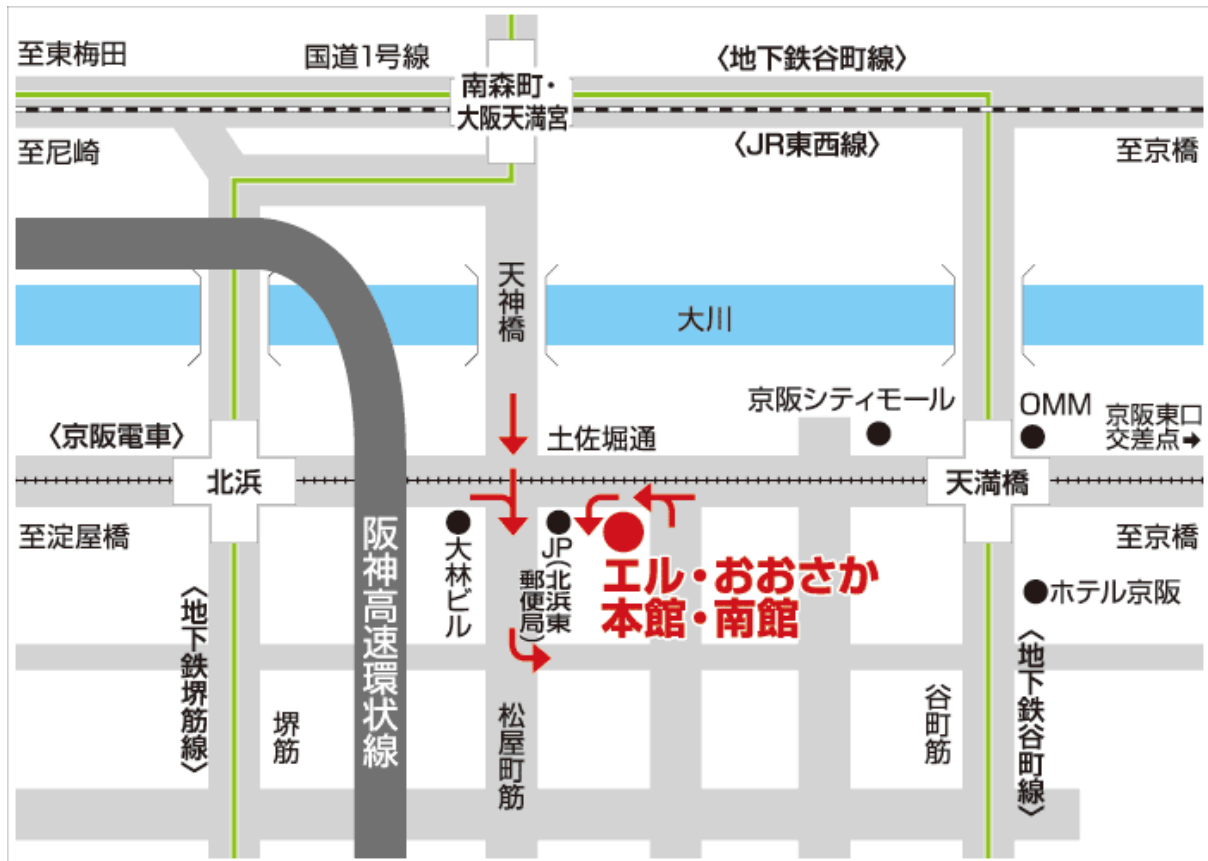
**「バクバクの会から尊厳死法に反対する活動紹介」**

昨年は国会上程が見送られた「尊厳死法案」が、今通常国会に上程されそうです。2012年と大きく異なっているのは、「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律（プログラム法）」が成立したことです。この法律は、「個人がその自助努力を喚起される仕組み」の「導入」を定め、医療・介護等の社会保障を切り縮めて、個人負担と個人責任を押しつけようとするものです。このような動きは、終末期の人々に対して、満足な医療を辞退するよう強制する形となります。

私たちは、「脳死」について考えていく中で、「尊厳死法」の問題についても考えはじめました。そのなかで、児玉真美さんの著書「死の自己決定権のゆくえ」という本に出会い、是非講演会をもちたいと考え、今回の集会を企画しました。この著書の中で、「どうせ助からないのだから」などで象徴される「生命の切り捨て」の容認や受容が、あまりにも当たり前であるかのような流れが紹介されています。この「どうせ…」の思想には、「脳死」を死とする考え方と同様のものが根底に潜んでいることを見逃してはなりません。まさに今、日本の医療が、社会保障のゆくえが、大きな岐路に立っているのです。「尊厳死法案」の問題を真剣に考え、例え小さな声でも政府に届けるように運動に結び付けていきたい、そう思っています。

個人の問題ではなく、私たちが生きているこの社会の問題として解決していく方向へ、舵を切りなおすことが絶対に必要です。ひとりひとりが、かけがえのない生命を全うできる社会へとすすめることをめざし、一緒に考えていきましょう。是非ご参加ください。

## 「エルおおさか」へのアクセス



●京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ 300m

やめて！！家族同意だけの「脳死」臓器摘出！市民の会

事務局：〒530-0047 大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル  
冠木克彦法律事務所内 TEL:06-6315-1517  
脳死110番常設電話：06-5136-7278

ゆうちょ銀行振替口座00980-7-159372  
(口座名：やめて家族同意だけの脳死臓器摘出市民の会)

ホームページ <http://www.jca.apc.org/~yamete/>